

圧力測定
フィルム

プレスケール 活用事例

[No.10]

測定対象



ブレーキパッド (ディスクブレーキ)

目的

ブレーキパッドの
あたりを確認

成果

時間短縮

材料ロス低減

業 種

自動車(製造、整備)、運輸

用 途

ディスクブレーキのブレーキパッドあたりを確認

課 題

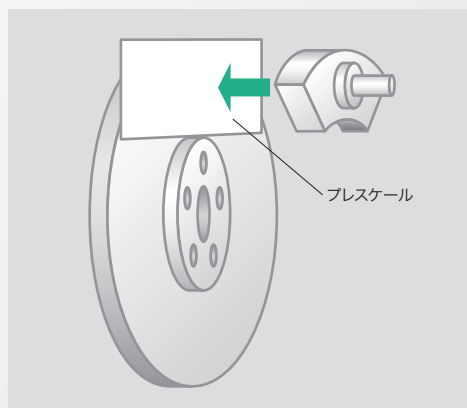
ディスクとブレーキパッドの摩擦力で制動をかける、自動車のディスクブレーキ。このディスクとブレーキパッドのあたりが最適でないと、ブレーキの効きの不良、パッドの傾斜磨耗、ブレーキ鳴き、振動等の不具合が発生する。このように、ディスクとブレーキパッドのあたりは性能／安全性／部品寿命等において重要だが、これまで確認する手段がなかった。

測 定

使用製品プレスケール(中圧用 MW・MS、高圧用 HS)

プレスケールをディスクとブレーキパッドの間に挟み、通常の条件でブレーキ圧を印加。プレスケールを取り出して発色状態を判定。

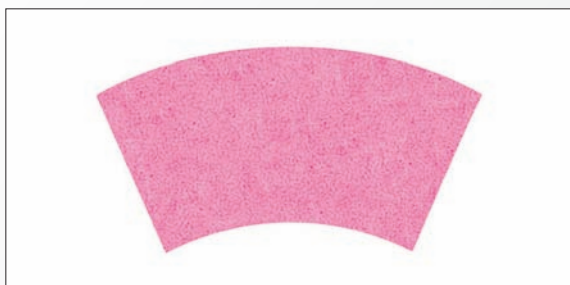
◎組み付けが最適か ◎ブレーキパッドとディスクの性能 ◎走行後のブレーキパッドの磨耗状態 などを簡便に調べることができる。



結果 (イメージ)



ディスクとブレーキパッドのあたりに傾斜が見られる。



ディスクとブレーキパッドのあたりが均一かつ最適な圧力で出ている。

導入効果

● 時間ロス効果

設計にて試行錯誤を重ねる方法に比べ大幅に設計効率が向上する。

● 品質ロス効果

任意のタイミングで容易にプレスケールで測定、安定したブレーキシステムを確実に提供。また、関連部品の性能および安定性も向上できる。

プレスケールを使わない場合

経験則と予測で設計、組み付けを行い、実際の制動テストなどで確認。こうした試行錯誤を重ねるため、**時間と労力のロスが大きい**。また、ドライバーの感覚や部品の状態による判断のため**実証的な品質管理ができない**。

プレスケールを使用した場合

ブレーキの効き具合／パッドの傾斜磨耗／ブレーキの鳴き／制動時の振動などの事象と、プレスケールの発色状態を対応データとして蓄積。これによりブレーキ設計が**短期間かつ最適に行える**。また、長時間走行テストの後もプレスケールにて**品質の安定性が確認できる**。

プレスケールの詳細は ▶▶▶ <http://fujifilm.jp/prescale/>

※本カタログに記載の仕様および性能は、改良のため予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。使用している画像はイメージであり、実際に測定したものと異なります。

富士フイルム株式会社

産業機材事業部／〒107-0052 東京都港区赤坂9-7-3

Email prescale-info@fujifilm.co.jp

URL <http://fujifilm.jp/business/material/prescale/index.html>

<https://fujifilm.jp/business/material/prescale/promotion/index.html>